



511号  
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2  
日港福会館 5階  
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
メール rouren@kensu.jp  
ホームページ http://www.kensu.jp/  
全国検数労働組合連合  
書記局



# 第1回検数労連16夏季一時金交渉

2016年6月3日

## 2016年夏季一時金要求書

2016年夏季一時金および諸労働条件の改善について、下記の通り要求いたします。

### 記

#### 1. 夏季一時金について

##### (1) 要求方式と要求額について

- ① 日検  
(本給+家族) × 3.0ヶ月 + 一律10万円 + 都市とすること。
- ② 全日検  
職員A  
(本給+家族) × 3.0ヶ月 + 一律10万円 + 都市とすること。  
職員B・見習い職員  
(本給+地域年齢手当) × 3.0ヶ月 + 一律10万円 + 都市とすること。
- ③ 都市加算の支給区分と金額については、別表の通りとすること。
- ④ 職員以外の従業員は、職員に準じて支給すること。

##### (2) 支給条件について

- ① 長期病欠者に対して、各々の支給基準の70%を支給すること。
- ② 通勤災害による休業者についても労災休業者と同一取り扱いとすること。
- ③ 一切の協会査定(特別評価)は行わないこと。
- ④ 転勤者の取り扱いについては、計算期間中のそれぞれの所属地の地域区分に基づく日割計算、または6月1日現在所属地の地区区分かのいずれか有利な方を適用すること。

##### (3) 支給日について

2016年7月8日(金)とすること。

#### 2. 諸要求について

厚生年金保険料の労使負担割合の改善をはかること。

#### 3. 国民的課題に対する態度表明

従業員の生活防衛と労働基本権を擁護し、平和な日本を守る立場から次のことについては反対すること。

- ① 安法法制の発動について ② 憲法改悪について ③ 労働法制改悪について ④ TPP参加、社会保障の改悪について

5月30日(木)検数労連代表者会議が開催され、16夏季一時金要求組織とたまたかい方が議論されました。要求組織については『一律部分』を重視した考えや『乗率部分』を重視した考えなどが出されましたが、議論を重ねた結果、左記のご通りの要求書で16夏季一時金をたたかう事で意見がまとまりました。

ただ、たまたかい方については、両協会の収支状況や山積している課題はあるものの、組合要求に耐えるだけの企業体力はあると判断。両協会の業績重視の姿勢を崩すべく、安定した一時

【組合主張】  
今週の月・火 検数労連代表者会議の中で16夏季一時金要求を組織した。

6月3日(金)蒲田日港副会館にて、第1回検数労連16夏季一時金交渉が開催され、組合は左記の要求書を両協会に提出しました。要求提出にあたり組合は要旨、次の通りの主張を行いました。

### 【第一回一時金交渉】

金を求めていくという一致しました。



両協会には収入減や将来不安を常々主張するが、代表者会議の中で出された意見では、慢性的な人手不足や長時間労働などの声が出ており、現場と両協会の間に大きな乖離がある。こ

の原因としては日々の業務を見る現場と長期展望を見る両協会との差であり、この差が埋まっていない事を感している。両協会は、業績の落ち込みや将来不安などを主張す

るが、現場で働く従業員は納得していない。そこには企業としての努力が必要であり、顧客満足度を上げる前に従業員の満足度を上げる努力をするべきだ。そういう意味からも要求に沿った回答構築を求める。

### 【全日検】

16春闘がついにこの間最終したが、春闘が長引いた原因のひとつには収入減もある。4月以降、予算未達になっている支部もあり、依然、厳しい状況に変わりはない。受け取った要求書を今日以降検討し、回答構築していく。

### 【日検協会】

労組連言説明の検数情勢等は協会の考えていることと一致しているところもある。本日受け取った要求書持ち帰り、直近の半期収益等を見た中で回答を構築していく。

## ※次回交渉

6月9日(木) 11時～  
両協会に対し基礎数字を求めていきます。